



## SSH先端機関研修

前期に実施した「学問探究発表会」の結果を受け、選抜された1年生19名が12月19日～20日、SSH先端研究機関研修に参加しました。

- 九州大学(水素エネルギー国際研究センター)**  
 西原正通副センター長・教授から水素エネルギーの有用性や問題点など、専門的内容をわかりやすく説明していただきました。
- 九州先端科学技術研究所(MOL)**  
 金・銀のナノ粒子、有機ELなど研究の話を知りました。また、実際に電子顕微鏡でナノの世界を見ることができました。
- 九州大学中央図書館**  
 資料の管理方法や、利用者が学習しやすい環境の作り方など、図書館のもつ多くの視点や役割を学び得ることができました。
- 卒業生との懇談**  
 59期生の木下朋哉さん(九州大学)が、大学生活の話や、高校時代の勉強や進路について語ってくれました。
- 日産自動車九州株式会社**  
 生産工場で、エンジン音を響かせたり、車体を左右に振ったりする車体検査など、車を生産していく「現場」に圧倒されました。



最先端の技術を目前に、とても有意義な時間を過ごせました。参加者の中に「研究者」という職業に興味をもった生徒もいました。将来この道に進む生徒が出ることを期待します。

## 鹿児島県高校生探究コンテスト

1月17日、カクイクス交流センターで開催された『第5回鹿児島県高校生探究コンテスト』に2年生の探究班10班が「ポスター発表部門」で参加しました。

研究途中の内容もあった中、各班ともしっかりと発表することができました。その中の「AI vs 人間 自分にピッタリな勉強を探そう」の班がごしまイグノーベル賞に選ばれました。

参加した生徒は聴衆からのアドバイスや他校の発表、ワークショップなど、参考になる点も多かったようでした。最終報告会まで、あと半年となった中、今回の経験を生かした探究活動の進展に期待です。



## リーサス「RESAS」に関する講演会

1月17日、1年生にビッグデータの利活用や分析手法について学んでもらうため、九州経済産業局RESAS調査員の須藤哲様、吉田郁夫様による講演会が行われました。RESAS(地域経済分析システム)は国が提供する人口動静や産業構造などの地方創生を支援するビッグデータを扱うサービスです。

情報Ⅰの授業で予習した内容を踏まえ、より発展的に講演ではクイズや実技を交えながら、鹿児島県内の人口推移を図やグラフで確認したり、鹿児島の生産物がどこで消費されるかなど、RESASによる詳細なビッグデータを扱いながらデータの分析方法を学びました。

